



秋～冬の感染症にご用心

先日、本校でもインフルエンザが集団発生しました。山形県ではまだインフルエンザの注意報は出ていませんが、感染力が強く乾燥した環境を好むため、今後も注意が必要です。



インフルエンザってどんな病気？

潜伏期間は？	感染してから症状が出るまでは 1～3 日間
感染経路は？	飛沫感染（咳やくしゃみ等）
症状は？	突然の高熱、頭痛、のどの痛み、関節痛、筋肉痛、だるさ （熱はいったん下がっても再度上がることがある） 熱が下がるころに咳、鼻水
合併症は？	肺炎、気管支炎、中耳炎を合併する場合もある ごくまれにインフルエンザ脳症
ワクチンの効果は？	有効性：60%（厚生労働省ページより） ● 不活化 インフルエンザHA ワクチン 3歳以上 13歳未満 皮下注射 2回 ● 経鼻弱毒生 インフルエンザワクチン「フルミスト」（2024～） 2歳以上 19歳未満 鼻腔内に噴霧 1回 ※飛沫または接触によりワクチンウイルスの水平伝播の可能性がある。授乳婦、周囲に免疫不全患者がいる場合、喘息患者には不活化インフルエンザ HA ワクチンを推奨。（日本小児科学会予防接種・感染症対策委員会より）
登校の目安は？	出席停止期間：発症後 5 日を経過し、かつ解熱後 2 日を経過するまで（下記参照）

	発症日	発症後							
	0日目	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目
発症 1 日目に 解熱した場合	発熱	解熱	解熱後 1日目	解熱後 2日目			登校可		
発症 2 日目に 解熱した場合	発熱	発熱	解熱	解熱後 1日目	解熱後 2日目		登校可		
発症 3 日目に 解熱した場合	発熱	発熱	発熱	解熱	解熱後 1日目	解熱後 2日目	登校可		
発症 4 日目に 解熱した場合	発熱	発熱	発熱	発熱	解熱	解熱後 1日目	解熱後 2日目	登校可	
発症 5 日目に 解熱した場合	発熱	発熱	発熱	発熱	発熱	解熱	解熱後 1日目	解熱後 2日目	登校可

夏～秋の感染症にも引き続き注意

夏から秋の感染症である手足口病やマイコプラズマ肺炎が、例年に比べ感染者数が大幅に増加しています。県内でもピークは過ぎましたが、手足口病の警報も解除されておらず、東根市内でもまだまだ予断を許さない状況です。

手足口病ってどんな病気？

原因は？	コクサッキーウイルス
潜伏期間は？	3～6日
感染経路は？	飛沫感染（咳やくしゃみ等）、接触感染、経口（糞口）感染
好発は？	乳幼児
症状は？	高くない発熱（1/3）、口の中・手足の末端・肘・膝・臀部等に痛みを伴う2～3mmの水疱性発疹が出る 発疹は3～7日でかさぶたを残さずに消える
予防方法と治療は？	<ul style="list-style-type: none">● 流水と石けんによるこまめな手洗い トイレの後やおむつ交換の後、食事の前に手洗いを心がけ、タオルの共有を避ける● 対症療法が中心 食欲不振による脱水症に注意
登校の目安は？	全身状態が安定していれば登校可能 症状が治った後も2～4週間は便からウイルスが排出されるので注意

マイコプラズマ肺炎ってどんな病気？

原因は？	肺炎マイコプラズマ（細菌）
潜伏期間は？	2～3週間
感染経路は？	飛沫感染（咳やくしゃみ等）、接触感染
好発は？	学童期～成人
症状は？	発熱、倦怠感、頭痛、乾いた咳などの風邪症状がゆっくりと進行する。 解熱後もしつこい咳が長引くことがある 排菌は症状のある間がピークだが、保菌は数週～数か月間持続する
予防方法と治療は？	<ul style="list-style-type: none">● 流水と石けんによるこまめな手洗い、アルコールによる手指消毒 換気、症状がある場合はマスクを着用する● 抗菌薬による治療
登校の目安は？	症状が改善し、全身状態がよければ登校可能

手洗いワンポイント



石けんをつけて **30 秒以上** 洗いましょう

ウイルスの表面は何層もの脂質で出来た膜でおおわれています。石けんをつけて **30 秒以上** こすり合わせることでウイルスの膜をこわすことができます。